

白馬八方尾根・柵池高原散策

布引支部 渡田哲夫

参加者：渡田、田中 明子、久野 美智

日時：令和3年7月11日(日)～14(水)

天候：曇り時々雨

兵庫県の「まん延防止等重点措置」が7月11日に解除されました。しばらく県外へ行くのは自粛していましたが、気持ちは「涼しく、お花が綺麗な信州の高原」に飛んでました。某交通社が3泊4日白馬フリープランを募集していたので、梅雨の最中ですが、お花を見るのなら雨でも良いと3人で申し込みをしました。

【7月11日(日)】

大阪駅8:00発のサンダーバードに乗り、金沢駅で北陸新幹線「はくたか」に乗り換え糸魚川駅には13:00頃に到着。駅には白馬アルプスホテルのバスが待ってました。ホテルまでは1時間程です。標高853mにあるホテルは、北欧風の落ち着いた外観でした。

白馬アルプス
ホテル



【7月12日(月)】

八方尾根 Gondola 乗場行きの送迎バスで8:30にホテルを出発しました。Gondola 乗場八方駅まで約1時間。朝出る時はとても良い天気でした。Gondola とリフトを乗り継ぎ標高1830mの八方池山荘まで標高差1060mを40分で一気に上がって行きました。



八方池山荘



木道を登る

コバイケソウ



八方池山荘からの登りは木道です。八方池までの登山道には色々な高山植物が咲いています。「この花は何という名前?」「写真を撮って」と花を見ながらなかなか前に進みません。特にコバイケソウは今年当たり年だとか!!とても綺麗に咲いていました。

八方池まで来ると雷雲が出てきました。白馬三山が池に映る姿を期待していましたがガスで隠れて見えませんでした。池の側には雪渓もあって標高2060mの涼しさを満喫しました。八方池から先は唐松岳への登山道になります。登山道を少し登ったところの岩場で昼食にしました。このまま唐松岳まで登れるかな・・・と期待していましたが、唐松岳方面は厚い雷雲が覆っていました。



八方池

手前の雪渓



昼食を食べてる時に雨が降り出し、突風に煽られて早々と昼食を終えて下山にかかりました。何とかホテルの送迎バスの時間に間に合いました。



唐松岳への登山口



ニツコウキスゲ

【7月13日（火）】

白馬散策2日目は、梅池高原から白馬乗鞍岳～白馬大池～梅池自然園の予定です。8時過ぎ、ホテルの送迎バスで梅池高原 Gondola 乗場に向かいました。10分程で Gondola 乗場到着。Gondola とロープウェイを乗り継いで終点の梅池自然園駅から梅池ビジターセンターまで10分程歩きました。



ビジターセンターの横に白馬乗鞍岳の登山道があります。ビジターセンターで登山届を提出。白馬乗鞍岳に向かってスタートしました。天気は雨が降ったり止んだり、登山道は岩とガレ石が多いので滑らないようにゆっくり歩きました。梅池自然園から1時間40分程歩いたところでいきなり雪渓が現れました。ここはアイゼン無しでも無事通過できました。午前11時頃、標高2202mの天狗原（てんぐっばら）に着きました。小雨が降ってましたが美しい湿原の景色を楽しみながらしばらく休憩します。



天狗原の湿原にて

白馬乗鞍岳までもう少し！！頑張って行こうと30分程登ったところで白馬乗鞍岳山頂直下大きな雪渓が現れました。（昨日はアイゼン持参していましたが本日は不要と思いホテルに置いてきました。）しばらく思案して進みかけましたが思ったより傾斜がきつくあきらめざるを得ませんでした。



白馬乗鞍岳



山頂直下の雪渓

天狗原まで戻り、湿原を見ながら昼食を食べました。昼食後、梅池自然園まで下り自然園の植物を見学することにしました。標高1900mの自然園には広大な湿原に多くの高山植物が咲いています。雨が降ったり止んだりの天気でしたが、ミズバショウ湿原やワタスゲ湿原等をゆっくりと見る事ができました。時期的に見れないと思っていたミズバショウの花を見ることができて良かったです。



ミズバショウ



ワタスゲ

帰り際にガスが晴れて梅池山荘の前から白馬乗鞍岳が姿を現してくれました。

白馬乗鞍岳登頂を残念したことにより、梅池自然園をゆっくりと見る事ができて結果的にはよかったと思います。Gondolaの梅池高原駅から最終の送迎バスでホテルに帰りました。本日の夕食は最終日、豪華な(?)ディナーでした。